

江東区議会議員

# 鈴木あやこ

働く世代の  
ワーク・ライフ・バランスを  
応援します！

3-4  
2018  
Vol.56

## 鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。

猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2017年度) 文教委員会 委員/オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 副委員長

★マニフェスト大賞 副実行委員長ほか、全国の地方議員の勉強会の事務局に携わる。 ★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き



## 鈴木あやこの活動報告

### 犬山市 地方議員研修会・視察 (1月24・25日)

ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟の地方議員研修会「地方創生時代の政策と議会のあり方を学ぶ」に参加。基調講演では、北川正恭元三重県知事から「地方議員が日本を変えるという立ち位置で頑張りたい」という言葉。犬山市議会のピアンキ・アンソニー議長からは、「前例より前進」の議会改革、山田拓郎犬山市長からは、「ピンチをチャンスに変える」犬山のまちづくりのお話など、パワーをいただきました。創意工夫と民間連携により成功している犬山の城下町も視察し、大変参考になる研修会でした。



勉強会風景・犬山城視察風景



### 発達療育専門センター「みなそら園」視察 (1月22日)

若手女性議員の仲間で作成したWOMAN SHIFTの勉強会で、大田区にある発達療育専門センター「みなそら園」を視察。障がい児支援、児童発達支援の現状と、今後の課題について代表の金村龍那さんを交えてワークショップを行いました。お子さんの生活能力の向上や、社会性の向上のためのプログラムの様子も現地視察。様々な特性を持つお子さんの個性、能力を大切に支援を行うことの重要性を学びました。児童発達支援については、保護者の方からご相談が増えている分野であり、しっかり対応できるよう学んでいきます。



「みなそら園」にてWOMAN SHIFTメンバーと代表の金村さんと



毎月恒例!

## 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、みなさまとざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください!

第83回：平成30年3月22日(木) 19:00 ~ 20:30

豊洲文化センター和室 (江東区豊洲2-2-18豊洲シビックセンター 8階)



## 江東区議会 第3回定例会 開催報告 &amp; 第4回定例会の日程について

江東区議会 平成 30 年第 1 回定例会は 2 月 21 日～ 3 月 29 日まで開催中です。2 月 22 日の本会議では一般質問に登壇し、平成 30 年度予算審査特別委員会においても質問を行いました。一般質問の内容の一部をご紹介します。



## 鈴木あやこの議会質問

## 一般質問①「オリンピック・パラリンピックの成功に向けて」



2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催まで、あと 2 年少々。平昌オリンピックの日本選手の活躍を見て、次はいよいよ東京だ、と胸の高鳴りを感じている方も多いと思います。本区が開催の中心区として、大会を成功に導いていけるよう質問を行いました。

## ① 大会開催に関わる交通マネジメントについて

【質問】 大会開催時、「大会関係者や観客などの輸送を円滑に行うこと」は大会成功に欠かせない要素。江東区にとって、「住民の日常生活や区内企業の営業活動に与える影響や負担を最小限に抑える」ことは極めて重要。

大会開催時の交通規制について、区民や企業にかかる影響についての区の認識と対応は。区として、住民や区内企業への意向や要望を把握し、国や都と連携して早期の情報提供や必要な支援を行うべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】 大会開催時は、一般車両に大会関係者が加わることで、首都高の渋滞は対策を講じなければ現況の 2 倍近くまで悪化することが想定されており、区民や企業への影響が懸念される。

大会運営にかかる交通規制の対応をはじめ、住民・企業の意向把握や情報提供等については、輸送連絡調整会議などを通じて、組織委員会や東京都へ十分な説明や調整、適切な支援を行うよう要望しているところである。

## ② 環状 2 号線の開通について

【質問】 大会開催時、重要な輸送路の一つとなる環状 2 号線の開通が豊洲市場の移転延期により不透明なため、BRT の運行や輸送運営計画の設定にも影響を及ぼしている。このことについて区の認識と、環状第 2 号線の地上部道路整備の開通時期、BRT の運行見込みについて、最新の状況は。

【答弁】 環状 2 号線は、大会の運営を支える中心的な輸送ルートであり、周辺道路の渋滞緩和に必要な路線。整備の遅れは本区においても重大な影響がある。地上部道路の開通時期については、都は平成 31 年度末を目途に整備を完了させるとしており、BRT もその整備状況に合わせての運行開始と聞いている。

## ③ 地下鉄 8 号線について

【質問】 東京都が発表した平成 30 年度予算案では、「東京都鉄道新線準備基金」が新たに創設された。これは、東京都の「社会資本等整備基金（3437 億円）」に積み立てている東京メトロ株式配当分 620 億円を原資として、国の交通政策審議会で事業化に向けた検討を進めるべきとされた 6 路線の事業化に向けて、検討を深度化することを目的としている。地下鉄 8 号線の整備について

は、豊洲市場移転の受け入れ条件である 3 つの約束の一つとして、必ず実現しなければならないものであり、他のどの路線よりも都から重視されるべき。区として、都に強く働きかけをすべきであるが、区の考えは。

【答弁】 豊洲市場移転における本区との約束や、周辺路線の混雑緩和をはじめとした整備効果を考えれば、8 号線は最優先に整備されるべき路線である。今後、都に対しては、速やかに、順位づけを含めた個別路線の深度化や、関係機関との具体的な協議調整を進めるよう、様々な機会を捉えて強く訴えていく。

## ④ ボランティアの活用について

【質問】 オリンピックの成功にはボランティアの活用が不可欠である。組織委員会の大会ボランティア、東京都の都市ボランティアは合計 11 万人規模で、今年の夏頃から募集予定だが、気軽に参加できる区独自のボランティアに参加したいという声も強い。江東区オリンピック・パラリンピック開催準備プランでは、平成 29 年度から区の独自ボランティアについて検討、決定することとなっているが、区のボランティアの位置づけと、今後の進め方、既存団体や、企業などのボランティアの連携、活用方針について伺う。

【答弁】 区では多くの区民の方々が大会に関わることが大会成功の鍵であるため、大会・都市ボランティアでは対応しきれない、まちの美化や会場周辺以外での道案内など、気軽に参加できる区独自のボランティアが必要であると認識。ボランティア実績のある既存団体や企業の協力が重要。役割分担等については、23 区課長と東京都組織委員会とで調整をはじめている。大会・都市ボランティアの具体的な活動内容の決定を受け、区民の大会・都市ボランティアの参加や独自ボランティアについて検討していく。

